



冬期開園期間は 11月11日(金)～2017年4月9日(日)までとなっております。開園時間は 10:30～15:30(入園は 15:00 まで)。12月30日(金)～2017年1月1日(祝)は休園日となっております。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

これからの季節は「エゾ」の生き物に注目!

これからの季節は、ここ旭川の寒さでもへっちゃらな、「北海道」を意味する「エゾ」などの言葉が名前に使われている動物を要チェックです。主に北海道産動物舎で観察することができますが、シマフクロウは「シマフクロウ舎」、エゾシカは「エゾシカの森」で観察してくださいね。道民にとっては身近な生き物ですが、知っていたことを確認したり、知らなかったこと発見してみてください。飼育スタッフ手作りパネル「ふむふむパネル」もチェックしてくださいね!



シマフクロウ

※シマフクロウの「シマ」は、北海道という「島」にすんでいるフクロウだと本州の人が見た目線で付けられた言葉です

冬期開園がスタート!
夏とは違う魅力を発見!
11/11から冬期開園がスタートしました。一部の動物は観察できなくなりましたが、ここは日本最北の動物園。冬だからこそ活動的になる動物を多く展示しています。ぜひ冬ならではの魅力ある姿を観察しに来てくださいね。
また、今回は、アオダイショウの赤ちゃん、放飼場デビューとなったレッサーパンダの赤ちゃんも紹介。寒くなくても動物たちは元気いっぱい。私たち人間も負けずに冬を楽しみましょう。

レッサーパンダとアオダイショウの赤ちゃんが放飼場デビュー!

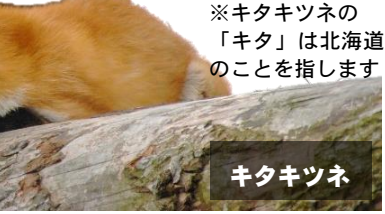
今年も春からたくさんの赤ちゃんを紹介してきましたが、今回は9月下旬から続々と孵化した両生類・虫類舎のアオダイショウの赤ちゃんと、6/28に生まれ、やっと寝室から外の放飼場に出てきたレッサーパンダの赤ちゃんを紹介します。

アオダイショウの赤ちゃんが孵化!

弾力のある殻の卵の中に、赤ちゃんはグルグル巻きになって入り、自分で殻を破り、卵から出てきます。卵は、幅約7cmの楕円形。赤ちゃんは、ボールペンほどの太さ(直径約8mm)で体長は約20cm。この後、何度も脱皮を繰り返し、成長していきます。冬でも両生類・虫類舎は開館しているので、ぜひ観察してみてください。



10/2撮影



キタキツネ

※キタキツネの「キタ」は北海道のことを指します



エゾリス



エゾクロテン



エゾユキウサギ



エゾフクロウ

ここに紹介している動物たちは冬眠をしません。エゾタヌキは冬に備えて体に脂肪をたくわえ、まるまると太ります。冬、防寒のために耳に長い毛が生えてくるのはエゾリス。エゾユキウサギは新雪の上でも埋もれず身軽に動けるよう、かんじきの役目がある大きな後ろ足をもっています。寒い地域で過ごすための特有の体をしているのです。



エゾタヌキ

レッサーパンダの赤ちゃんがデビュー!

6/28に産まれたレッサーパンダの双子の赤ちゃんが、放飼場デビューしました。親と同じ見た目をしていますが、体はまだ小さく、体の割に尾が太いなあと感じます。双子の赤ちゃんの見分け方ですが、頭の色がクリーム色に近い茶色なのがメスの「雲雲」(右)、赤茶色がオスの「雷雷」(左)です。



オスの「雷雷」



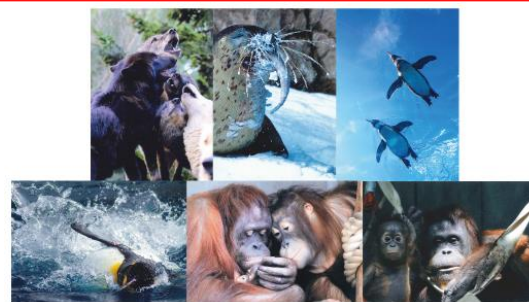
メスの「雲雲」

これから開催のイベント

- 11月
 - 11/11(金)～2017/4/9(日) 冬期開園
開園時間10:30～15:30(入園は15:00まで)
 - 11/27(土) クリスマスツリーを飾る会
13:00～ いこいの広場など
※要事前申込み(定員30名)
 - ～2017/1/25(水)まで作品募集中
第17回動物読書感想文コンクール
 - 11月のワンポイントガイド
13(日)、20(日)、23(祝)、27(日)

- 12月
 - 12月下旬～ペンギンの散歩スタート
積雪状況により実施時期が変わります
 - 12月のワンポイントガイド
4(日)、11(日)、18(日)、23(祝)、25(日)
※12/30(金)～2017/1/1(祝)は休園日となっております

第22回動物ふれあいフォトコンテスト 受賞作品の発表&展示は12/4(日)から!



昨年の11/11から今月3日まで募集していた、旭山動物園で撮影した動物たちの写真のコンテスト「第22回動物ふれあいフォトコンテスト」の表彰式は12/4(日)、同日に、「ほっきょくぐま館」裏にある「やすらぎの森」で受賞作品の展示もスタートします。昨年度はゴマファザラシの写真「私のダイア」が最優秀賞を受賞しました(写真上段中央)。

7/11に産まれたシロテナガザルの赤ちゃんの命名式が10/23に行われました



今年の夏、7/11に母モンローと父テルテルの間に産まれたオス赤ちゃんの愛称が、応募総数518通の中から「うた(歌多)」に決まり、10/23に命名式が行われました。シロテナガザルは「ホーツ ホーツ」と、遠くまで響き渡る「ソング」という音声コミュニケーションをとる動物。「よくうたう子になって欲しい」ということが命名理由で名付けられました。

※「旭山動物園に聞いてみよう!」コーナーはお休みです